

軽井沢新聞

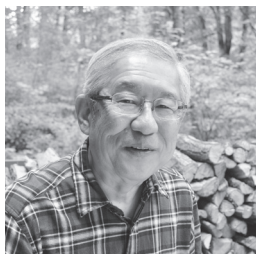
10月号 October 2019

編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27

身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055



軽井沢人物語



国立天文台長
常田 佐久 さん

「地球外生命体の探索は、
もう SF の話ではない」

太陽観測衛星「ようこう」(打ち上げ1991年)、「ひので」(同2006年)などの開発と運用を主導した。太陽表面の爆発現象フレアの起こるメカニズムや、磁場生成の仕組みなどについて、数々の論文を発表。日本の学術賞としては最も権威のある日本学士院賞を今年6月に受賞した。

研究対象に太陽を選んだのは「恒星の中では最も近く、観測機器がなかった当時(40数年前)の日本でも、工夫を凝らせば成果を出せる」と思ったから。太陽観測衛星の開発は、国の膨大な予算を投じる、10数年がかりのプロジェクト。打ち上げが成功し、初めての天体撮影が成功するまでは「生きた心地がしないですね」。

「ひので」は13年経った今も、高度680kmの宇宙空間から太陽観測を続けている。観測データは、打ち上げ直後から即時公開し、世界30カ国の研究者が利用。発表された論文は2400を超え、NASAやESA(欧州宇宙機関)の太陽観測衛星計画にも大きな影響を与えた。

「今では、『ひので』がどこの国の衛星かわからない、という人もいる。生産性の高い仕事になりました」

2018年4月から現職。国立天

文台の最も重きを置くプロジェクトが、口径30mの超大型地上望遠鏡TMTの建設計画。数カ国共同で2030年の完成を目指している。太陽系外惑星に生命の兆候を探ることが、目的の一つだ。

「太陽系外のほとんどの星に惑星があって、地球のような惑星もかなりあることがわかっている。地球外生命体の探索なんて、若い頃は考えもしなかったけど、もうSFの話ではない。多くの天文学者の関心も、そちらにシフトしています」

20年ほど前から、北軽井沢の山荘を訪れている。以前は夏中心だったが、年々頻度は増え、季節を問わず月に2回ほど来ている。

「特に冬がいいですね。雪が積もった風景が非常にきれい。特別なことは何もありませんが、ストレスが消え、東京で疲れた心身がもとに戻ります」

1954年生まれ。いずれ北軽井沢への移住も視野に入れるが、「新しい観測施設の建設にめどをつけて、若い人たちが十分活躍できる環境を整えるのが先」と前を向く。世界が注目する大きな仕事はまだ残されている。

町立軽井沢病院の訪問看護ステーションが5月から休止していることを受け、民間の2事業が町内に拠点を開設し、9月から訪問看護を始めている。

民間2事業者、訪問看護を開始

町立軽井沢病院の訪問看護ステーションが5月から休止していることを受け、民間の2事業が町内に拠点を開設し、9月から訪問看護を始めている。

御代田町で訪問看護ステーション「メディカル・サポート・チーム」を営む合同会社Y&Aは、軽井沢病院の訪問看護を利用して約30人のうち、何人かを引き継いでケア。軽井沢出張所の責任者を務めるのは、軽井沢病院の訪問看護ステーションで管理者をしていた田之岡真由美さん。「利用者さんの中にはすぐ対応してほしい人もいますが、小諸、御代田からだ時間がかかる。困っている方



ほっちのロッジ建設予定地。

9月から始動。看護師3人が、24時間体制で新生児、医療ケアが必要な子ども、末期ガン患者、難病の人らの暮らしを支えていく。

同ロッジ共同代表の一人で、福祉環境設計士の藤岡聡子さんは「医療、福祉の面でサポートするのはもちろん、相手の生活や暮らし、嗜好などを知って、その人らしさを引き出せるケアを心がけた」と話している。

TEL080-3864-8531 (メディカル・サポート・チーム軽井沢サテライト)、TEL080-8992-9142 (訪問看護ステーションほっちのロッジ)。

4年後、外国人宿泊者30万人目指す インバウンドビジョン発表

軽井沢町と軽井沢観光協会は9月26日、外国人誘客の観光戦略「軽井沢インバウンドビジョン」を発表した。町内に新たな観光スポットを

作るなどし、県内市町村と広域で魅力を発信。2023年に外国人延べ宿泊者数を30万人(2017年17万7千人)にすることを目標とする。

軽井沢の2017年の外国人宿泊者数のうち、全体の81%を占めるアジア圏域からの誘客は「成熟した」(町観光経済課)と分析。今後は、北米西海岸、欧州の直行便就航地域を中心にプロモーションし、誘客を図る。

観光客が増加しすぎることによるオーバーツーリズムの対策として、車両乗り入れ規制や新たな2次交通を検討。新名所を創出し、観光客の分散を図るとした。新名所の例として、発地の休耕田を利用した桜のトンネル、植栽に力を入れて新たな魅力を加えた湯川ふるさと公園を挙げた。また、スポーツツーリズムもさらに推進し、レールバイク(4人乗り電動アシスト付き鉄道自転車)の導入や、スケートボードパークの設置なども検討する。

藤巻進町長は「常住人口が減少する中、交流人口(観光客や二地域居住者、関係人口(地域のひとと関わる地域外の人材)を増やし、別荘、観光の町をさらに推進していく。その中でも、インバウンドは大変有効と考える」と話した。



年間を通じて、外国人観光客に人気の雲場池。同じ場所に集中しないよう、新たな名所づくりに取り組む。

「家のリフォーム」は三井のリフォーム軽井沢店へ

※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。

三井のリフォーム5つの約束

1. お客様のご要望をすべてお聞きします。
2. 資格の無い監督には任せません。
3. 追加工事はお客様のご確認いただいた後で。
4. 価格以上の満足をご提供します。
5. 今まで過ごされた思い出を大切にします。

リビング・ダイニング 寝室・和室・書斎 洗面・トイレ
キッチン・浴室 外観・エクステリア 水漏れ・雨漏り

あなた様のご予算に合わせてご提案させていただきます。

軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業

リフォーム一筋20年

三井不動産グループ

〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42 (営業時間) 9:00~18:00

悩んでいないで、まずはお電話ください!!

見積り無料!! (0120) 278-321

大井建設工業株式会社

リフォーム専門店の私たちにまかせください!!



全国第1位の社長表彰をいただきました。



WEBで検索! 三井のリフォーム軽井沢店

ホームページが新しくなりました。www.karuizawa-reform.com

メール karuizawa@mitsui-reform.com

優秀賞
HOUSE OF THE YEAR
IN ENERGY
2018

優秀企業賞
HOUSE OF THE YEAR
IN ENERGY
2018

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2018

3年連続優秀賞
2018優秀企業賞

W受賞

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2018 3年連続優秀賞受賞

ゼロ・エネルギーハウス (ZEH)

「太陽の家」誕生

自由設計 (寒冷地仕様)

34坪

耐震等級3 認定住宅

太陽光発電5kw標準装備

カーテン・照明・諸経費
コミコミ住宅

北海道基準

詳しくは右のQRコードからウェブサイトへアクセス!

※室外給排水工事、金銭機関に支払うローン保証料、登記等に関する費用(登録免許税、司法書士等への報酬)、火災保険は別途必要になります。

長野信賴工務店 CISO 9001認証取得

大井建設工業株式会社

ホームページ/ www.kosodate-ouen.com

大井建設 子育て